本時の学習 (2/7)

1 ねらい

横浜港にどのようにして品物が運ばれてくるのか考える活動を通して、日本じゅうに輸送網が広がっていることを理解 したり、様々な輸送方法の役割について考えたりすることができる。

2 準備

提示用資料(拡大した道路網・鉄道網、航路・航空路を表す地図、輸送量の割合の変化を表すグラフ、鉄道コンテナな どのイラスト)、学習問題一覧表(子供たちから出された疑問をまとめたもの)、ポイントカード、ワークシート

3 展開

学習活動		時間	学習活動への支援および留意点	評価項目
	国内の運輸の様子について調べよう			
1 第1時に運輸にかかわることとし て設定された学習問題を確認する。		5	問題を確認しやすいように、学習問題一覧 表 (子供たちから出された疑問をまとめた もの)を提示する。	
	鉄道や道路が網の目のように広が ていることを資料から読み取る。	20	栃木県と福岡県から横浜まで自動車がどの ように運ばれていくかについて、自分なり	日本国内の運輸の様子 を、写真や地図、グラ

- - ・栃木県と福岡県の工場から横浜港 まで、どのように製品である自動 車が運ばれていくかを考える。
 - ・輸送方法には、大きく分けて自動 車、鉄道、船、飛行機などがある ことや鉄道や道路が網の目のよう に広がっていることなどを知り、 ワークシートにまとめる。
- の考えをもてるようにするために、既習事 項についてふり返るようにする。
- ・米、水産物、自動車の部品の輸送について ふり返ることによって、自動車が運ばれて いくイメージをつかめるようにする。

フなどの資料を活用し て具体的に調べている かどうかを、ワークシ ートの内容の分析を通 して評価する。

- 3 国内の輸送量の割合の変化を、資 料から読み取る。
 - ・自動車による輸送がのびているこ と、その割合が 50 %以上である ことを知る。
 - ・自動車の輸送が多い理由について 予想を立てる。
 - ・輸送方法ごとの特色について分か ったことをワークシートにまとめ る。



4 「運輸」について自分なりの考え をもつ。

- グラフの読み取り方を復習しながら、輸送 量の割合の変化を読み取れるようにする。
- ・子供たちがあまり見たことがない鉄道、船、 飛行機による輸送について、写真資料など を提示する。
- ・四つの輸送方法(自動車、鉄道、船、飛行 機)の特色をまとめた学習資料を配付する。



調べて分かった事実だけではなく、それに 対する自分の考えを書けるようにする。

原材料の確保や製品の 販売などにおいて、運 輸の働きが深いかかわ りをもっていることが 分かったかどうかを、 ワークシートに記述し た内容の分析を通して 評価する。

調べたことをもとにし て、運輸が我が国の工 業生産において重要な 役割を果たしているこ とや、これからの運輸 のあり方について考 え、適切に判断してい るかどうかをワークシ ートの内容の分析を通 して評価する。

20

- ・資料から読み取ったことや、それ をもとに考えたことなどをワーク シートにまとめる。
- ・米、水産物、自動車部品の輸送など、具体 的な事例を基に考えることによって、運輸 と工業生産とのかかわりに気付けるように する。
- 5 本時の学習をふり返り、運輸が我 が国の工業生産において重要な役割 を果たしていることを確認する。
 - ・自分の考えを発表したり友だちの 考えを聞いたりして、運輸の役割 について考える。
 - ・本時の学習をふり返り、自己評価する。

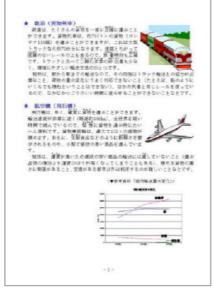
運輸が果たしている役割を確認したり、一人一人の考えを確かなものにするために、数人の友だちの考えを聞くようにする。

評価項目の内容を正しく理解して評価できるように、説明を補足したり助言したりする。



板書の様子(伊勢崎市 立豊受小学校) 地図とグラフは、 教科書の資料を拡大 したもの





四つの輸送方法(自動車、鉄道、船、飛行機)の特色をまとめた学習資料

ワークシート

工業製品の代表とも言える自動 車が、栃木県と福岡県の工場から 横浜港まで、どのように運ばれて いくかを考えるために使用した。